



平成 28 年 3 月 29 日（火）に CBC のラジオカーが本会に来てくれる事になったが、誰か対応する者いないか、ということで広報委員会メールが回ってきたのが 3 月初めころでした。私は、当初他人事のように考えておりましたが 3 月の広報部会で私が出演することに決定してしまいました。

1 月から 3 月まで「つボイノリオの聞けば聞くほど」の中で行ってきた番組とは異なり、レポートドライバーが土地家屋調査士会館に訪れて、生放送でレポーターとインタビュー形式で土地家屋調査士のことを話すというものでした。

おおよその話す内容については事前に中島広報委員はじめ広報部員、広報委員の方が考えた原稿が出来ていたのでよかったです。生放送ということで放送日の何日も前から妙に緊張しておりました。

いよいよ当日。放送本番は午前 11 時くらいとのことでしたが、打ち合わせや準備のため 9 時 50 分には本会に着き 3 階の会議室で待機していたところ、10 時くらいには、レポートドライバーの若い女性 2 人が到着し早々に準備を始めました。

その日レポーターとして話をする清水藍さんは、小柄なさわやかな感じの方で、打ち合わせ開始段階からマックスだった私の緊張をやさしく上手にほぐしてくれました。

放送時間を 3 分程度の尺に収めるため、あらかじめ用意しておいた原稿の内容を少しずつ変更しながらリハーサルをし、またラジオ生放送をするにあたっての心得などを教えてもらいつつ時間が過ぎていきました。リハーサルを何度も行うことで緊張もほぐれてきたので良かったです。

本番は、当初の予定では 11 時 15 分くらいとのことでしたが、実際には 30 分近くになってからでした。「はい、本番行きます。」との声を機に否応がなしにレポーターとの対話が始まりました。その間は、「間違えない! 噛まない! 棒読みしない!」ということに意識を集中しすぎて実際しゃべったことはほとんど覚えていません。そして最後に「ありがとうございました。」の声を聴き、「あっ、やっと終わった」と安堵しました。

土地家屋調査士のことを上手く伝えられたか分かりませんが、貴重な体験をさせていただいたことに感謝します。

（広報部理事 山内良仁）

※この様子は CBC ラジオのホームページ、レポドラ日記のコーナー、H28.3.29 に紹介されています。

http://blog.hicbc.com/weblog/repodora/index_2.php

